



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月12日

上場会社名 互応化学工業株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 4962 URL http://www.goo-chem.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池上 幸一  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 西川 憲一 TEL 0774-46-7777  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	3,582	△0.1	380	40.2	412	47.4	320	86.3
24年3月期第2四半期	3,584	0.2	271	△32.3	279	△35.5	172	△36.1

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 358百万円 (131.3%) 24年3月期第2四半期 154百万円 (△22.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	48.40	—
24年3月期第2四半期	25.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	13,310	11,160	83.7
24年3月期	12,988	10,935	84.1

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 11,142百万円 24年3月期 10,918百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

25年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当20円 記念配当20円(創立60周年)

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,300	5.0	645	10.0	705	8.4	455	16.7	68.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社 （社名） ー 、 除外 一社 （社名） ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注意事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	6,992,000株	24年3月期	6,992,000株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	361,515株	24年3月期	361,515株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	6,630,485株	24年3月期2Q	6,631,456株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見直し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) セグメント情報等	8
(7) 重要な後発事象	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、内需主導で緩やかに回復はしているものの、長引く円高や原材料価格の高騰により、製造業にとっては厳しい状況が続きました。また、欧州債務危機や米国の景気回復の遅れ、さらには中国やインドの新興国の景気減速によって、経済活動は先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループの主力分野でありますプリント配線板業界は、デジタル家電の需要低迷などの影響を受け、国内外ともに厳しい状況が続きました。また、もう一方の主力分野であります合繊織物業界は、好調を維持しておりました細番手を中心とした高機能性織物が在庫調整に入り、国内外ともに急激に市場が縮小いたしました。

その中で当社グループにおきましては、各分野において高機能・高付加価値の製品開発をスピーディーに行い、利益の改善を図るとともに、きめ細かな営業活動により売上高の増加に努力してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は3,582百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益は380百万円（同40.2%増）、経常利益は412百万円（同47.4%増）、四半期純利益は320百万円（同86.3%増）の減収増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (反応系製品)

反応系製品の中で、繊維関係におきましては、好調を継続しておりました細番手を中心とした高機能性織物が在庫調整に入り、当社グループもその影響を受け、国内外ともに大幅な売上高の減少となりました。

しかし、化粧品関係におきましては、シャンプー・コンディショナー分野での新規開拓と、ヘアスタイリング剤の新製品の開発によって売上高と利益を伸ばすことができました。

また、製紙・印刷関係におきましては、きめ細かな営業活動により、ダイレクトメール用UV圧着ニス为好調に推移いたしました。

その他、自動車関連用樹脂は、欧州の消費低迷の影響を受けて減少いたしました。水溶性ポリエステル樹脂は包装用フィルム、光学フィルムなどの用途に需要が高まり、国内外とも順調に売上高を伸ばすことができました。

その結果、当セグメントの売上高は2,911百万円（前年同期比0.8%減）、営業利益525百万円（同16.7%増）となりました。

#### (混合系製品)

混合系製品は、自動車関連が回復基調にあるものの、パソコンや薄型テレビを中心とした家電製品の販売不振や、欧州・中国の消費低迷が重なりプリント配線板用インクは厳しい内容となりました。しかし、スマートフォンやLED、タッチパネルの用途を中心とした高付加価値インクの開発により利益の改善を図るとともに、きめ細かな営業活動により売上高の増加に努力してまいりました。

その結果、当セグメントの売上高は670百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益61百万円（前年同期は営業損失4百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は13,310百万円と前連結会計年度末に比べ、322百万円増加いたしました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ267百万円増加し8,946百万円となりました。これは、現金及び預金が135百万円増加したことや受取手形及び売掛金が52百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ54百万円増加し4,364百万円となりました。これは、有形固定資産が100百万円減少しましたが、無形固定資産が46百万円増加したことや繰延税金資産が109百万円増加したこと等によるものであります。

流動負債は前連結会計年度末に比べ89百万円増加し1,652百万円となりました。これは、未払法人税等が107百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ6百万円増加し497百万円となりました。

純資産は前連結会計年度末に比べ225百万円増加し11,160百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が27百万円減少したものの、利益剰余金が188百万円増加したことや為替換算調整勘定が63百万円増加したこと等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末から136百万円増加し、1,781百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は318百万円(前年同期比23.0%増)となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益407百万円(同49.2%増)に対し、売上債権の増加額49百万円(同13.9%増)及び仕入債務の減少額127百万円(前年同期は128百万円の増加)並びに法人税等の支払額90百万円(前年同期比42.9%減)等の資金減少要因があったものの、減価償却費99百万円(同17.4%減)及び利息及び配当金の受取額24百万円(同53.1%減)等の資金増加要因があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は51百万円(同87.5%減)となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出51百万円(同42.0%減)等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は132百万円(同1.1%増)となりました。これは、配当金の支払額132百万円(同1.1%増)によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における業績は、当初予想を超えるものでありましたが、第3四半期以降につきましては、今後の原材料価格の動向や国内消費の低迷、さらに欧州や中国の消費低迷等を勘案し、先行き不透明な状況が推測されます。そのため通期の業績予想の見直しは行っておりません。なお、平成24年8月9日に公表した「関係会社株式の一部売却に関するお知らせ」に記載しておりますとおり、株式の売却価額が確定次第、業績予想の見直しをお知らせいたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,401,135	5,536,530
受取手形及び売掛金	1,975,053	2,027,360
商品及び製品	510,190	560,892
仕掛品	251,203	220,309
原材料及び貯蔵品	454,219	441,272
繰延税金資産	60,985	116,474
その他	26,318	47,999
貸倒引当金	△265	△4,559
流動資産合計	8,678,842	8,946,279
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,727,244	3,736,401
減価償却累計額	△2,840,405	△2,874,171
建物及び構築物(純額)	886,838	862,230
機械装置及び運搬具	5,830,908	5,824,386
減価償却累計額	△5,490,149	△5,514,031
機械装置及び運搬具(純額)	340,759	310,354
工具、器具及び備品	866,293	878,998
減価償却累計額	△835,710	△842,653
工具、器具及び備品(純額)	30,582	36,345
土地	2,097,295	2,097,295
建設仮勘定	54,430	3,302
有形固定資産合計	3,409,906	3,309,529
無形固定資産		
のれん	373	248
その他	50,098	96,344
無形固定資産合計	50,471	96,593
投資その他の資産		
投資有価証券	803,715	790,209
従業員に対する長期貸付金	1,194	1,110
繰延税金資産	32,150	141,502
その他	22,280	35,746
貸倒引当金	△10,280	△10,283
投資その他の資産合計	849,060	958,285
固定資産合計	4,309,439	4,364,407
資産合計	12,988,281	13,310,687

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,153,099	1,026,071
未払金	131,942	127,686
未払費用	11,734	4,956
未払法人税等	93,785	200,922
賞与引当金	114,884	217,190
役員賞与引当金	14,500	10,250
その他	42,796	65,647
流動負債合計	1,562,743	1,652,725
固定負債		
退職給付引当金	354,079	354,420
役員退職慰労引当金	136,060	142,589
固定負債合計	490,140	497,010
負債合計	2,052,883	2,149,736
純資産の部		
株主資本		
資本金	842,000	842,000
資本剰余金	827,990	827,990
利益剰余金	9,737,380	9,925,694
自己株式	△268,988	△268,988
株主資本合計	11,138,382	11,326,696
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	61,523	34,268
為替換算調整勘定	△281,649	△218,060
その他の包括利益累計額合計	△220,126	△183,792
少数株主持分	17,141	18,046
純資産合計	10,935,397	11,160,950
負債純資産合計	12,988,281	13,310,687

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	3,584,595	3,582,372
売上原価	2,471,360	2,305,253
売上総利益	1,113,234	1,277,119
販売費及び一般管理費	842,172	897,033
営業利益	271,062	380,085
営業外収益		
受取利息	4,330	4,356
受取配当金	2,568	3,030
持分法による投資利益	13,758	23,820
貸倒引当金戻入額	113	—
受取ロイヤリティー	6,582	8,903
雑収入	4,370	5,445
営業外収益合計	31,724	45,557
営業外費用		
売上割引	3,487	3,211
為替差損	16,057	9,014
その他	3,245	720
営業外費用合計	22,790	12,946
経常利益	279,996	412,696
特別利益		
固定資産売却益	—	2,613
特別利益合計	—	2,613
特別損失		
固定資産除却損	1,562	377
持分変動損失	5,107	7,139
特別損失合計	6,669	7,517
税金等調整前四半期純利益	273,326	407,792
法人税、住民税及び事業税	142,848	204,086
法人税等調整額	△42,115	△117,776
法人税等合計	100,733	86,310
少数株主損益調整前四半期純利益	172,592	321,481
少数株主利益	303	557
四半期純利益	172,289	320,924
少数株主利益	303	557
少数株主損益調整前四半期純利益	172,592	321,481
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,448	△27,255
為替換算調整勘定	△2,897	6,307
持分法適用会社に対する持分相当額	626	57,628
その他の包括利益合計	△17,718	36,681
四半期包括利益	154,873	358,162
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	154,730	357,258
少数株主に係る四半期包括利益	143	904



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	273,326	407,792
減価償却費	119,996	99,129
のれん償却額	124	124
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△255	4,249
賞与引当金の増減額(△は減少)	60,997	102,305
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5,319	6,529
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,500	△4,250
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,401	236
受取利息及び受取配当金	△6,898	△7,387
為替差損益(△は益)	△502	△562
持分法による投資損益(△は益)	△13,758	△23,820
持分変動損益(△は益)	5,107	7,139
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△2,613
有形固定資産除却損	1,562	377
売上債権の増減額(△は増加)	△43,418	△49,439
たな卸資産の増減額(△は増加)	△104,571	△5,065
仕入債務の増減額(△は減少)	128,035	△127,750
未払金の増減額(△は減少)	△16,790	△2,078
未払費用の増減額(△は減少)	△7,325	△6,993
未払消費税等の増減額(△は減少)	△23,460	29,736
その他	△4,612	△42,426
小計	366,776	385,233
利息及び配当金の受取額	51,258	24,051
法人税等の支払額	△159,203	△90,925
営業活動によるキャッシュ・フロー	258,831	318,359
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△89,154	△51,690
有形固定資産の売却による収入	—	2,613
無形固定資産の取得による支出	△340	—
投資有価証券の取得による支出	△2,958	△3,311
定期預金の預入による支出	△2,645,191	△2,545,383
定期預金の払戻による収入	2,326,430	2,546,303
貸付金の回収による収入	169	84
投資活動によるキャッシュ・フロー	△411,045	△51,384
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△131,214	△132,610
財務活動によるキャッシュ・フロー	△131,214	△132,610
現金及び現金同等物に係る換算差額	△484	1,949
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△283,912	136,314
現金及び現金同等物の期首残高	1,880,581	1,644,831
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,596,669	1,781,146

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 2
	反応系製品	混合系製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,935,454	649,140	3,584,595	—	3,584,595
セグメント間の内部売上高又は振替高	33,446	—	33,446	△33,446	—
計	2,968,901	649,140	3,618,041	△33,446	3,584,595
セグメント利益又はセグメント損失(△)	450,620	△4,182	446,438	△175,376	271,062

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△175,376千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 2
	反応系製品	混合系製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,911,806	670,566	3,582,372	—	3,582,372
セグメント間の内部売上高又は振替高	21,939	—	21,939	△21,939	—
計	2,933,746	670,566	3,604,312	△21,939	3,582,372
セグメント利益	525,727	61,625	587,352	△207,267	380,085

(注) 1. セグメント利益の調整額△207,267千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

(7) 重要な後発事象  
該当事項はありません。